

# 浄化槽における二酸化炭素排出抑制への取り組み

部門賞  
企業賞  
賞状

公益財団法人 大分県環境管理協会

## 取り組みの紹介

当協会は大分県知事指定の検査機関として、大分県内における浄化槽の法定検査、及び普及・啓発事業を行っています。浄化槽は、下水道が整備されていない地域において、生活排水を処理する設備です。汚水の浄化には、微生物への酸素供給が必要であり、送風機やポンプ等の稼働には電力を必要とします。今回は従来から行ってきた水環境の保全に加え、更に浄化槽の稼働に必要な電力の削減に取り組みました。

## 活動の目的

浄化槽分野では、2022年度までに12万t-CO<sub>2</sub>の削減目標が課せられています。

この目標達成に向け、当協会では2019年度より環境省事業の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の受付・審査窓口として、大分県内の浄化槽に

おける最新省エネ設備への更新を推進しています。また今年度からは、汚水浄化に必要な電力削減技術の調査・研究を行い省エネ化に取り組んでいます。

## 活動の内容

県内の中・大型浄化槽について、対象となる1,213件の浄化槽ユーザーへ補助金活用による省エネ化の案内を行い、関係者には浄化槽に関する研修会での発表や個別の相談窓口として対応等を行いました。コロナ禍の影響もあり、設備投資などが厳しい状況ですが、2020年度も同様に1,094件の浄化槽ユーザーへの案内、及び浄化槽関係者との個別相談にも力を入れ、脱炭素化を進めています。

また今年度新たな取り組みとして、低負荷の小型浄化槽における電力削減を目的に、大分市公園緑地課協力のもと市内4公園にプログラムタイマーを設置し、汚水浄化に必要な送風機の稼働時間削減に関する調査を行いました。

その結果、4公園で年間762kwh、0.38t-CO<sub>2</sub>の削減見込みを得ることができました。この調査結果をもとに、大分市内の他公園はもとより、県内の低負荷施設へと取り組みを進めます。

当協会は、県内唯一の浄化槽協会として、40年間大分県内の水環境の向上に携わってきました。昨今、浄化槽は水環境を守るだけでなく、脱炭素化も必要とされています。これからも環境保全に取り組む浄化槽への応援をよろしくお願いします。

### 浄化槽の仕組み



### 本取り組みの目的

